

第3回 摂食嚥下機能評価実習研修会のご案内

皆様におかれましてはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。
本年度の摂食嚥下機能評価実習研修会を下記日程にて開催いたします。
受講希望の方は、申込書に必要事項を記載してe-mailにてお申し込みください。
実技免除希望の場合は症例リストを添えてご提出ください。
定員に達し次第申し込みを終了します。受講可能な方には参加費の振込先を改めてご連絡いたします。

申し込み先：jsdrkensyu3@gmail.com

運営事務局：藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪1-98

担当：柴田， 瀧（お問い合わせはメールにてお願いいたします。）

【日時】 2015年9月13日（日）

【場所】 国立京都国際会館 Room D

【研修対象】 医師， 歯科医師（当学会員か否かは問わず） 100名

喉頭ファイバースコープを診療として実施している経験を5年以上有する方は講義のみの受講とさせていただきます。

申し込み時に，診療実績として簡単な経歴の記載および内視鏡実施症例リスト10例（年齢，性別，原疾患，重症度，摂食レベル，方針等を記載）をご提出ください。

*本研修会の実技演習は主に模型を使用した初心者向けの挿入実習になります。
臨床で必要な手技および考え方は講義で解説いたします。

【参加費】 実技受講者：30,000円

実技免除者：25,000円

【目的】

摂食嚥下機能評価及び摂食機能療法のための専門的な知識・技術を有する医師・歯科医師および関連職種養成を目的とします。

本研修会は「胃瘻造設時嚥下機能評価加算」の算定（内視鏡で評価する場合）にあたって，修了すべき研修の要件を満たすよう企画しています。研修会終了

時に修了証を交付します。この加算は医科のみの対象で、歯科は対象となっておりません。

【プログラム】

9：00～開会の辞

1. 摂食嚥下障害・総論（60分） 9：05-10：05
藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座 加賀谷 齊
 - ・口腔，咽頭，喉頭の解剖
 - ・摂食・嚥下のメカニズム（嚥下モデル）
 - ・摂食嚥下障害の原因疾患
 - ・代替栄養法の種類と管理，胃瘻の適応

2. 摂食嚥下障害の評価・診断1（50分） 10：10-11：00
-総論，VF-（実施方法，リスクマネジメントを含む）
足利赤十字病院リハビリテーション科 馬場 尊
 - ・神経学的所見，全身状態
 - ・スクリーニング検査
 - ・嚥下造影検査（動画含む）
 - ・レポートに記載すべき内容（異常所見，重症度，対応策，推奨食事形態，再評価の予定）

3. 摂食嚥下障害の評価・診断2（70分） 11：05-12：15
-内視鏡下嚥下機能評価検査の実際-
東京大学耳鼻咽喉科 二藤 隆春
 - ・検査実施方法，検査時の注意点
 - ・検査所見の評価法と対応（典型症例の検査動画提示）

4. 摂食機能療法の実施方法（50分） 12：25-13：15（ランチョン形式）
藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座 小島千枝子
 - ・嚥下訓練の目的と手技
 - ・具体的な訓練法（間接訓練，嚥下手技）
 - ・代償手段（姿勢調整，食物形態による調整）

5. 摂食嚥下障害治療に必要な知識 (50分) 13 : 20-14 : 10

藤田保健衛生大学医学部歯科 松尾浩一郎

- ・ 肺炎徴候の診断
- ・ 気道管理の要点
- ・ 口腔ケアの要点
- ・ 治療効果の評価方法 (重症度分類, 摂食状態)

6. 栄養管理の実践 (50分) 14 : 15-15 : 05

千里リハビリテーション病院 合田文則

- ・ 栄養評価の方法
- ・ 経腸栄養剤の種類, 合併症とその対策
- ・ 半固形化栄養法について
- ・

(内視鏡経験者は実技免除のため, ここで終了)

7. 内視鏡下嚥下機能評価検査の実施方法【演習】 15 : 15-16 : 45

(健常被験者に対するデモンストレーション, 模型を使った挿入実技)

- ・ 挿入経路
- ・ 嚥下評価時の観察ポイント
- ・ 注意すべき事項

16 : 45～ 終了の辞, 修了証配布.